

ひらくびつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 7 NO 12 1983. 3 . 1

平塚市博物館 TNO 82

教育普及活動の紹介 ⑪

自然観察会

「城ヶ島のウミウ」を観察するために、1月16日の日曜日に、20余名の市民が、三浦半島の先端へ出向きました。城ヶ島の地質や岩壁をねぐらにしているウミウは、約2,000羽ぐらいいるそうです。

生物担当の浜口学芸員を中心に、壮大な自然にア・ポステリオリオリなロマンを求めて、毎月一回自然観察会が行われています。今年は、これまでに「箱根」、「丹沢」、「宮ヶ瀬」、「井の口」などの自然を訪ね、その素晴しさと不思議を探ってきました。そして今回は、「城ヶ島」です。

以下は、当日参加した人びとの感想文です。

◇平塚駅に8時30分集合。・・・私は、観察会参加3回目で、城ヶ島には既に会社の旅行等で3回程行っていましたが、灯台の周りしか見ないで油壺へと駆け足のバス旅行しかしておりません。

今回のように、説明を聞いてじっくりと見ると、城ヶ島も見る所が多く、興味をそそられました。「馬の背洞門」からウミウの生息地へ向かい、「赤羽根」の断崖で、ウミウとヒメウが冬を越しているのを見ました。

望遠鏡で観察すると黒鷺も3羽位混じっており、3時頃には、合計510羽程が確認されました。

この観察会で教ったのは、道端の小さな草木もそれなりの名があって、それなりの意義を持って成長しているという事と、普段見過ごしているものにも関心を持って大切にしようという事でした。

(市内平塚在住・美馬栄一)

※4ページへつづく



写真：城ヶ島にて

3月の行事

1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	プラネタリウム、古文書講読会
6	日	プラネタリウム
7	月	(休館日)
8	火	
9	水	
10	木	デッサン教室
11	金	デッサン教室
12	土	プラネタリウム、土曜観察会「高麗山・湘南平の自然」、石仏を調べる会
13	日	プラネタリウム、自然観察会「早春の大磯丘陵をたずねて」
14	月	(休館日)
15	火	
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	プラネタリウム、古文書講読会
20	日	プラネタリウム
21	月	(春分の日・休館日)
22	火	(休館日)
23	水	
24	木	
25	金	星を見る会「月と金星を見よう」
26	土	プラネタリウム、土曜観察会「高麗山・湘南平の自然」、石仏を調べる会
27	日	プラネタリウム、体験学習会「拓本墨を作ろう」、地層観察会「ルートマップをつけよう」
28	月	(休館日)
29	火	
30	水	
31	木	(月末休館日)

☆☆☆3.4月の行事 ☆☆☆☆☆☆☆

あなたも参加してみませんか

●星を見る会 「月と金星を見よう」

望遠鏡を使って月面と金星を観察します。月は十日月、金星はよいの明星になって西の空に輝きます。

日時 3月25日(金) 18時~20時

場所 博物館科学教室

参加自由。当日、科学教室にお集まり下さい。

●「みんなで調べよう平塚のタンポポ」

平塚市内には、日本にもともとあった、カントウタンポポとシロバナタンポポ、ヨーロッパから入ってきて帰化したセイヨウタンポポとアカミタニタンポポの4種類のタンポポが生えています。

博物館では、1978年にこれらの種類の分布調査を行いましたが、5年後の今年、分布が変わったかどうかを調べる調査を計画し、この調査に協力して下さる方を募集しています。

(休日コース)

4月10日(日) 打ち合わせ

6月 5日(日) まとめ

(平日コース)

4月12日(火) 打ち合わせ

6月 7日(火) まとめ

調査 4月10日~5月31日までの間に、各自都合のよい日に1~2日実施する。

申し込み 参加を希望される方は、往復ハガキで、3月31日までに博物館までお申し込み下さい。(人数の制限はありません)

●体験学習シリーズ№74 「草木で遊ぼう」

春の野原で、昔から伝わってきた草木遊びを体験します。

期日 4月17日(日) (雨天中止)

場所 平塚市南金目付近

申し込み 往復ハガキで、4月5日までに博物館までお申し込み下さい。申し込み多数の場合は、抽選で30名まで。





足跡は語る

2月1日(火) はれ

ある自然観察の雑誌から、鳥の足跡について記事を書いてほしいと依頼された。雪や泥の上に残された動物の足跡は、その動物の生活ぶりをよく物語っていることがあり、それを調べることは自然観察の有力な方法になっているのである。記事の題は「干潟で見つけた鳥の足跡」と決め、写真や情報を補うため、相模川河口に取材に出かけることにした。

干潟に着いたのは午前11時、潮はかなり引いていたが鳥影は少ない。ユリカモメが30羽ほど中州に群れ、本流との間の杭の上にカルガモ3羽が休んでいる。一通り、鳥の種類と数の記録をすませ、カメラを持って足跡探しにかかった。

岸を歩いていくと、さっそくコサギの足跡が見つかった。傾斜地を歩いているせいか、一步一歩、足指の開き具合、足の向きなどがちがっているのが面白い。

10メートルほど先を1羽のツグミが歩いていた。双眼鏡で歩き方を観察する。ちょっと立ち止ってから、ツツツ……と小走りに6、7歩進み、両足をそろえて立ち止まり、また数歩進む。こうした歩き方をくり返している。時々、立ち止まるのがツグミの歩き方の特徴だが、それが足跡にも残っているかどうか? ツグミが飛び去った後に行ってみると、かすかではあったが、期待したような足跡が残されていた。これで、足跡だけを見ても、この足運びはツグミだろうと推定することができるようになった。

中州のカモメが飛び立ったので、そこへ行ってみたいのだが、それには流れを横切らねばならない。冷たそうだったが、思い切ってはだしになり、中州へ渡った。思った通り、そこにはカモメの足

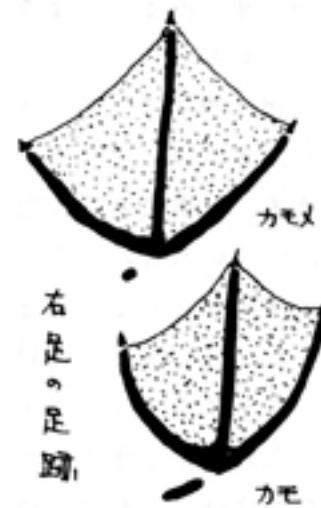
跡がたくさん残されていた。ウミネコとユリカモメの足跡の大きさのちがい、歩くスピードで歩幅がちがうことなどがよくわかる。小さな魚の死体が落ちている所では、近くを通りかかったユリカモメが、興味を示して立ち寄った跡があった。しかし、あまりおいしそうに見えなかったのか、すぐに立ち去ったようだった。

中州の岸辺で、水かけはあるがカモメとちょっと様子のちがう足跡が見つかった。後ろ指が長く、その跡がはつきりついていること、前の3本の指の長さが不ぞろいなことなどが特徴で、これはカモのものらしい。大きさからいってカルガモのものだろう。実は、後ろ指の跡については、ちょっとした問題がある。

イギリスで出された動物の生活痕(せいかつこん:足跡、食べ跡、糞など)の図鑑を見ると、「カモは後ろ指の跡がつくが、カモメは後ろ指の跡がつかない」と書いてある。しかし、私の観察では、やわらかい泥の上であれば、カモメも後ろ指の跡がつくとみてきた。そのことが再確認できたことも今日の収穫のひとつだった。

干潟で一番よく見つかるのは、カラスの足跡である。打ち上げられたボラの死体の周辺には、たくさんのカラスの足跡がつき、何羽かが集まって死体をついぱんでいたようだ。

こうして観察を続けていると、記事に書く文章が、切れ切れに頭に浮かんでくる。「カラスはどう足跡をたどると面白い鳥はいません。破れたゴムボールなどのまわりにも、たくさんの足跡が残されているのは、カラスの好奇心が強いことを示しているのでしょうか。……」それを忘れないようにメモして、原稿に使うわけである。



カラス・足跡

ふしきれだた

天文コーナー ⑭
よいの明星



夕方、西の空に金星が輝きはじめました。ほぼま西、平塚から見ると富士山の方向に見え、夕ぐれの中、黒いシルエットになった富士山の上に純白の明星(みょうじょう)が輝くさまはちょっとした見ものです。

金星は西洋では愛と美の女神ビーナスにたとえられ、まばゆいばかりに光る金星にふさわしく思えます。日本でもこんなに目立つ星ですから、各地にいろいろな呼び名が残されています。代表的な名は明星(みょうじょう)で、夕方見えるのは宵(よい)の明星、明け方見えるのは明けの明星といいますが、ミードー(群馬・静岡)、メジヨ(宮崎)となまるところもあります。明けの明星をあけぼし、あけのほし、といい、よいの明星をよいぼし、ゆうぼし、くれのほし、ともいいます。

おもしろい呼び名もあります。「ぬしとぼし」とは、盗人の如く出入りが早い、との意味です。「ゴケブリ」とは、大井川上流の方々で、ゴキブリのごとくちょろりと出てすぐ引っ込む星、という意味だそうです。明神と呼ぶ地方もあるようです。

よいの明星として西空に見ている金星の近くに、月が出ていることがあります。西空低い位置ですから、大変に細い月で、金星と並んで光るさまはなかなかの見ものです。3月は17日に並びますから、晴れていたらお見逃しのないように。もし見逃したら、4月は、16日です。

受入寄贈資料

2.15 雛人形 平塚市徳延6-8 岩崎静江様

御協力を深く感謝いたします。

はくぶつかん

Vol.7 No.12 通巻83号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 〇3500

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel.33-5111

■ 教育普及活動の紹介 ■

(1ページよりつづく)

◇ 11時頃にバス停を出発、灘ヶ崎のあたりで地層の観察をしましたが、その中で印象に残ったのが波調層(はちょうそう)という波の化石ともいいうべきものでした。

昼食をとってから、ウのねぐらへ向かいました。「あッ 来た!・・・」海上から群れになって帰って来て、ゴマ粒をまいたように白い岩肌にへばりつき、黒と白の対比をなすのを見て、「きれいだなあ・・・」と思いました。

午後5時頃、落日を見ながら、城ヶ島を後にしました。とても有意義な1日でした。

(太洋中2年・倉本恵生)

◇ ぼくは、自然観察会でりあった島さんによくものをたずねたりして、どんなものがいるかわかったので、「ぼくも、そのようにすぐ答えられたならな・・・」と思いました。

こんど自然観察会に行くときは、みんなで自然を美しくし、きれいにし、いつきてもよいようにするためどうしたらよいか、ということを学びたいと思います。

(大野中1年 萩野 博)

「はくぶつかん」スタッフから

「はくぶつかん」をもっとおもしろくて、楽しいものにするために、あなたの意見、ご感想をぜひお聞かせ下さい。

(あて先) 〒254 平塚市浅間町12-41

☎ 0463(33)5111

平塚市博物館

「はくぶつかん」スタッフまで
どんどんお寄せくださるのを待っています!

おことわり 「みんなのサロン」は、今回お休みさせていただきます。